

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
消費者経済演習		大野 満奈	演習	2	後期
必修・選択	修了要件	選択必修			
	資格要件				
学習目標	何らかの手段で貨幣所得を得るすべての人々は、消費者と呼ばれる経済主体の集合に属している。この、消費者は財・サービス市場または生産要素市場において、どのように行動し、意思決定を行っていくのか。そして、消費者の行動を制約する諸条件に変化が生じたとき、どのような影響が消費者に与えられ、経済にどのような変化が起こるのか。このような問題を、時に受講者の発表形式を交えて学習し研究していく。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	消費者とは	消費者・家計			
2	消費経済の概念と基礎理論	消費経済の概念・消費の法則			
3	消費の変化とその要因	生活水準・消費力			
4	食料消費構造の変化（1）	日本型食生活			
5	食料消費構造の変化（2）	世界における変化の実態			
6	消費者行動の理論実態（1）	消費者行動における心理学			
7	消費者行動の理論実態（2）	市場調査の目的・方法			
8	消費者行動の理論実態（3）	消費者行動の決定要因			
9	企業とコンシューマリズム	消費者の権利と利益			
10	消費者問題	近年の消費者問題と消費の安全性			
11	消費者保護	消費者運動・消費者保護			
12	消費者行政	消費者行政の歩み・消費者のための法律			
13	消費者教育	消費教育の方法と内容・消費教育の機関			
14	畜産物消費	将来の畜産物消費の展望			
15	時事問題を考える	昨今の消費経済に関する時事問題			
参 考 書	嶋村紘輝他著「入門消費経済学（第1巻）」慶応義塾大学出版会 2009 清水聡著「新しい消費者行動」千倉書房 2002				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	日々の社会の動き、特に講義のテーマに関連した内容については注目して問題点を整理しておく。毎日新聞に目を通しておくことが望ましい。				
評価の方法と時期	積極度合い、出席、レポートを総合して期末に評価する。				